

石動3区意見交換概要

日時 平成30年4月20日(金)

場所 東部公民館

出席 34名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	<p>小矢部川の洪水で福町が浸水した場合には、城山へ避難することになる。公共施設の再編によって、5つある指定避難所が1つになってしまう。指定避難所として機能できるのか？</p> <p>東部地区の指定避難所は、東部小学校と東部公民館になっている。洪水になった場合は、小学校や公民館までは行けないので総合会館へみんなが避難すると思う。1つの総合会館と体育館だけで避難できるのか？</p>	<p>現在、公民館や学校などを指定避難所としているが、その地区で全てをなくすことまでは考えていない。避難所として残さないといけない施設もあると思っている。東部小学校が避難所になっているが、統合した場合は避難所の機能として残すことも考えなければいけない。避難経路等も含め、協議していきたいと思っている。防災計画を見直しているところである。その中でしっかりと検討していきたい。</p>
2	<p>東部小学校がずっと残ればよいと思うが、1クラスだけだと中1ギャップなどの問題があると思う。子どものことを考えると統合もよいと思う。もっと大きな視点で考えていくことが大事だと思う。</p>	<p>東部小学校の統合については、中1ギャップも課題となっている。保護者の皆さんの意見もしっかり聞いていきたい</p>
3	<p>子育て支援を充実させて、小矢部市は子どもを産み育てやすいところだとPRし、転入者を増やすことが重要だと思う。</p>	<p>子育て支援、教育環境の充実は、小矢部市は県内でもトップクラスだと思っている。病児保育、病後児保育は、北陸中央病院の「おやべにこにこ園」で対応いただいている。しっかりと若い世代にアピールしていきたい。</p>
4	<p>保育所、認定こども園の途中入所を受け入れられる体制になっているのか？また放課後児童クラブも途中からでも入れるのか？</p>	<p>保育所・こども園の途中入所については、保育士の確保が一番の問題となる。民間のこども園とも協力しながら、対応していきたい。</p> <p>放課後児童クラブについては、定員の空きがあれば途中からでも入れる。東部の放課後児童クラブは、まだ余裕がある。</p>
5	<p>第7次総合計画の中に、おやべ商社構想があった。市が商社を設立してやっていくのか？</p>	<p>民間やNPOなどが商社を設立し、市は積極的に支援していくことを考えている。</p>
6	<p>稲葉メルヘン牛がブランド牛として商標登録されているが、もっと増産してもらいたい。小矢部市の人々が東京などの親戚の人などに贈れば知名度も上がっていくと思う。</p>	<p>稲葉メルヘン牛は、現在、80頭体制となっている。市内にもなかなか流通していないという現状がある。110頭まで増やせるように牛舎等を整備していきたいと思っている。評判もよいので、市の目玉にしていきたい。</p>

No.	発言要旨	市長回答要旨
7	<p>石動駅周辺整備事業で、市民の電車通勤者向けに無料駐車場をつくる計画はあるか？</p> <p>石川県にはたくさんある。西高岡も無料だったはず。無料駐車場が増えると、富山や金沢に通勤しやすくなり人口も増えると思う。</p>	<p>駅南に 110 台、今の駅前に 160 台の駐車場、合計 270 台の駐車場があるが、通勤者向けの無料駐車場はない。図書館の利用者は3時間無料になる。</p> <p>無料駐車場にすると、放置車両の問題が出てくる。除雪時にも大変な障害になる。倶利伽羅駅の駐車場は無料だが、放置車両の問題を抱えている。</p> <p>貴重なご意見として伺っておく。検討してみますが、実現は厳しいと思う。</p>
8	<p>高齢者が増えてきており、メルバスがなぜ福町を通らないかという声が多い。ルート変更などを行う予定はあるのか？</p>	<p>メルバスは、ルートなどの見直しを行っている。</p> <p>一昨年のタウンミーティングでも同じような意見があり、昨年、福町線を検討するためにデマンドタクシーを走らせた。しかし利用者が非常に少なかったため、やめることになった。</p> <p>全地域を網羅できればよいが、バスの台数や運転手の確保など課題がたくさんある。諸課題についても、検討していきたい。</p>
9	<p>道路の拡幅の予定はあるのか？特に東福町の火災の際には、消防車も通れなかった。空き家も多いので、拡幅してほしい。</p> <p>また、上下水道についても設置から 50 年以上経過し老朽化していると思うが、改修予定はあるのか？</p>	<p>道路の維持管理や上下水道の老朽化対策について、当然考えていかなければならない。</p> <p>長寿命化の計画を策定していきたい。</p>
10	<p>空き家対策について、空き家の倒壊や瓦が落ちるなどの問題がある。市にお願いして対処してもらっているが、根本的な対策があれば教えてほしい。</p>	<p>平成 24 年に空き家調査をしたところ、424 戸の空き家があった。石動地区には 144 戸あった。平成 29 年の調査では、121 戸増えて 545 戸になった。特に石動地区の空き家が非常に増えている。石動地区は、前回から 43 戸増えている。</p> <p>空き家対策については、法律の縛りがあり難しいところがある。市では小矢部市空家等対策計画を策定し、計画に基づいて対策を進めていくことにしている。</p>
11	<p>アウトレットモールや駐車場ができたり、道が拡幅したりして、福町の堤防沿いをウォーキングしにくくなったという声がある。ぜひ、この辺りにウォーキングコースを整備してもらいたい。</p>	<p>ウォーキングコースについては、おっしゃる通りだと思う。</p> <p>またアウトレットモール周辺の河川敷の親水公園化を国にも要望している。今後も、引き続きしっかりと粘り強く要望していきたい。</p>

No.	発言要旨	市長回答要旨
12	<p>若い世代が大学などで東京や大阪へ行き、都会の大学を卒業しても田舎へは帰ってこない。若い人が、小矢部市に帰ってこないことが一番の問題だと思う。若い人が小矢部市に帰ってくるようにしてもらいたい。</p>	<p>若い世代の定住は非常に重要だ。首都圏の大学へ進学し、こちらへ戻ってくる人の数値は、非常に悲惨な数値だ。特に女性が帰ってこない。住みやすいところと、住んでみたいところのマインドの違いが、若い世代にはあるようだ。10年後の成人式、35歳同窓会でアンケートをとると、都会へ行っている7割の人がいずれ帰ってきたいとの回答をしている。子育て支援策、教育環境の充実、治安面などを重要視されている。これらに今後もしっかりと取り組んでいきたい。</p>